

第6回 成瀬小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2024年7月30日（火） 9：30～11：13	
開催場所	町田市立南第二小学校 1階 家庭科室（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	尾上委員、鈴木委員、福士委員、岩澤委員、柴田委員、中村委員、小山委員、沖委員、赤澤委員、森本委員、山本委員、吉成委員、遠藤委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
	東京造形大学	海士 智也（造形学部デザイン学科グラフィックデザイン専攻領域 教授） 大威 夏希・頓部 遥・中嶋 海帆（造形学部グラフィックデザイン専攻領域 学生）
	株式会社 オフィス カオル	濱野 崇、笹木 研吾
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

1 第5回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

2 報告事項について

（1）2024年度における学校の取組について

会長 （資料2説明）

（2）成瀬小学校の校歌・校章の制作状況について

東京造形大学 （資料3－1説明） ※非公表資料

委員 先日の校章制作児童交流会を参観した。その際、子どもたち全員が自分の意見を言っていたのが印象的だった。また、参観した保護者から、去年は手を挙げて委員になることはなかったが、今年はやってみたいと思ったという話を聞いた。家ではなかなか校歌・校章の話はしないそうだが、子どもたち同士や学校を通じて、未来の学校のことを真剣に話している様子を知ることができ、それを保護者に伝えることができてよかった。引率で子どもたちと一緒に帰った際にも、何々のこれがよかったね、という話もあり、あの場で終わりではなく、終わった後も子ども同士で話していた。

委員 私も交流会に参加させていただき、その後、お便りの作成で学校に頻繁に行ったが、会う子ども、会う子どもがすごく楽しかったと言っていた。また、クラスの代表の子どもがクラスに戻った際、自分たちの意見をこういう形で発表した、という報告をし、それを聞いた子どもたちから、自分たちも参加したかった、もっと関わっておけばよかったという声も聞いた。

これまで子どもたちがやっていた活動は、大人が進め、アンケートを出して、という形だったが、こうして形に見えるようになり、反響が今までと全然違うということを感じられた。また、1年生がクラスから1人しか代表がいないう中で、きちんと発表でき、帰るときに高学年の子どもが、「1年生なのにすごいね」、「2年生なのにすごいね、こんな機会って滅多にないよね」と子ども同士で褒め合っている姿を見て、それもまたとてもよかったのではないかと思った。これから10月に向けてお披露目の会の準備が進むと思うが、きっと子どもたちはそこでの発表も楽しみにしていると思うため、最後まで、どうぞよろしくお願いしたい。

オフィスカオル （資料3-2説明） ※非公表資料

〔 成瀬小学校校歌案 〕

委員 私は、昨年度の3パターンの交流会に参加させていただいた。3曲全部聞かせていただいたが、この2案はすごくいいと思っており、そのときよりも洗練された印象がある。歌詞もつき、気持ちよく歌えそうな校歌になっていると思った。

歌詞について、子どもたちが語りかけられるような、あまり難しい言葉が入っていないため、ずっと心に入り、何か学校生活で苦難があったときにもそれを支え、助けになれるような、とてもいい歌詞になっていると思う。

しかし、2番の「虹の橋」というのがどうしても気になる。「虹の橋」というと亡くなるというイメージが強いため、それが少し気になっている。

全体的な歌詞としては、未来に向けて羽ばたき、力強く子どもたちが成長していくような歌詞で、とてもいいと思った。

委員 前年度と今年度、音楽室で講義を聞かせていただいた。子どもたちがグループワークをしている際、6年生が引っ張っていたり、低学年が発表をしていたりという、保護者が学校で見ることができない発表の仕方を見ることができた。学校公開などで見る先生の前の子どもたちでもなく、放課後の子どもたちでもなく、きちんと何かを決めているという姿勢を初めて見ることができ、とてもいい機会になった。

みんなはこういうことを言っていた、僕はこうでした、など、たくさん出た意見を発表し、それが形になっていくということは、子どもたちもとても喜ぶと思う。

代表委員の顔ぶれが、前年度もやっていた子どもが多かったため、学校の先生に持ち上がりなのか聞いたが、今年度は今年度で募っているとのことだった。そのため、今年もやりたいと思っている子どもが多くいる印象があった。委員になった子どもたちも、自分たちがつくったということを、大人になっても、地域にいても遠くにいても、思い出という形で残るのではないかと思った。

（3）仮校舎の整備状況について

施設課 （資料4説明）

委員 両方の図面を見ると、仮囲いの設置期間が9月中旬でなくなり、11月からまた始まると記載されている。この間、仮囲いがなくなるのか。後の工事の際は、現在の仮囲いと同じものができるのか、それとも、もっと大きく高い安全なものができるのか

か。後の増築工事の際、授業中に工事をやるのか。やる際にはどういう状況でやるのか。

施設課

現在設置されているのは改修工事の仮囲いであり、9月中旬頃までで1回撤去する。そして、11月から増築工事が始まるため、改めて、別の業者が仮囲いを行う。どのような仮囲いにするのかは、現在増築校舎を設計中であり、仮囲いも合わせて検討している。

11月からの増築校舎の工事は平日も行うことになるかと思う。校舎では授業等が行われているため、十分安全に配慮しながら工事をさせていただきたい。

委員

「まちとも」の関係で授業が終わって外遊びをやる。その際、工事をやっているのかどうかということが知りたい。「まちとも」の外遊びをやるというお知らせを8月末に出すことを考えているが、どういう状況になるか分からない。

学校の授業が終わってからの外遊びのため、遊びは5時まで行う。その間に工事とぶつかっていて安全なのかということを、学校側と打合せながら外遊びをやるか決めたいため、細かい工事の日程を学校側にも共有してほしい。

施設課

工事は夕方までの予定のため、「まちとも」の活動も並行して行われているかと思う。工事の工程については、学校と十分調整しながら進めていきたい。

委員

先日、これは工事ではないが、草津の学校で下校訓練をしていた児童と、放課後の学校開放で来ているご高齢の方が接触をしてしまい、けがしたため、賠償金を取られたという事件があった。こちらは学校開放ではないが、学校に工事の方が入り、児童の動線が工事の間に入っているため、そういった面も踏まえ、子どもたちにも工事が入ることを説明し、工事の方にも、事故がないように注意をしていただきたい。

施設課

子どもたちがいながらの工事になるため、安全には十分注意して工事を進めていきたい。

会長

この児童の動線には必ず人が立っていただくということを、学校側から要望を出している。また、現存する校舎内は夏休みで終わるような計画を立てている。子どもたちに2学期以降も工事の説明はしていく。

（４）南成瀬小学校の跡地について

教育センター

（資料５説明）

委員

来年度から前倒しで中学校をオープンするとのことだが、どこなのか。

教育センター

来年度オープンする予定の分教室は、教育センターの中に開設する。教育センターは、現在木曽東にあり、最寄りが古淵駅だが、来年度途中に仮設に移転する。この分教室も一緒に仮設で移転し、山崎になる。

（５）その他報告事項

新たな学校推進課

（資料６説明）

委員

今日出席できなかった委員からの質問を代弁する。

資料５、学びの多様化学校の設置についてに関して、質問１、新しく設置される学

校は地域の防災機能としてどのくらい機能させる計画か。南成瀬小学校と同等か、拡充強化するのか。質問2、成瀬小学校建設中の避難所変更に関する町内会・自治会以外、約7割の住民への周知について、町田市が検討している方針、計画、スケジュールを教えてください。

新たな学校推進課 1点目の学びの多様化学校になった際に避難施設がどうなるのかというのは、今後検討し、こちらの協議会でもご報告させていただきたい。

2点目の工事期間中の代替の避難施設は成瀬高校、ということをお知らせさせていただいたが、どう周知していくのかについて、防災課で検討している。決まり次第、ご報告させていただきたい。

3 次回開催予定

新たな学校推進課 第7回基本計画推進協議会

2024年10月8日（火曜日） 9時30分 南第二小学校会場

会長 （閉会）